

避難スペース

屋上太陽光パネルからの電気を利用し、夜間や停電時にも照明が点灯し、安全に安心して避難できるものとなっています。

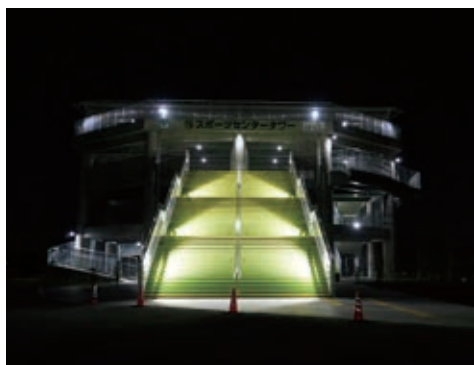
2階の避難スペースには備蓄倉庫を設置しており、毛布や水、簡易トイレなどを備蓄しています。

倉庫入口には、震度5弱以上の揺れを感知すると自動で開錠する「防災ボックス」を設置し、ここに倉庫のカギを収納しています。いざという時に避難してきた方が誰でも備蓄品を使えるようにしています。

太陽光パネルと屋上対空表示



地震時自動開錠ボックス



備蓄倉庫

更衣・授乳室



2階の避難スペースには、災害時用の「簡易トイレ」を設置するためのスペースもあります。

また、授乳や更衣室として使える小部屋も設置しています。

いずれも発災時に使えるようにしています。

1階啓発スペース

1階には災害啓発スペースも設けています。東日本大震災の被害状況・姉妹都市岩沼市の多重防御の取組・南海トラフ地震・南国市津波ハザードマップ・南国市津波避難対策「命山構想」の説明・南国市の地震・津波の歴史など、5枚のパネルを展示し、いつでも学べるスペースとなっています。また岩沼市の「千年希望の丘」に設置されている鐘に合わせ、悲劇を繰り返さないための学びの象徴となる鐘を設置しています。



啓発スペース『学びの場』

■問い合わせ／危機管理課 ☎088-880-6575



避難想定人数	820人
浸水する深さ(想定)	4.40m
避難スペースの高さ	2F 7.50m 3F 10.50m
杭の長さ	13.3m
30cmの津波到達までの時間	41分

10月20日、南国市前浜にある市立スポーツセンター北側に、本市15番目の津波避難施設となる「スポーツセンタータワー」が完成しました。本タワーは、大勢の方が利用するスポーツセンターの緊急避難場所として、また、本市にかつて存在した「命山」をイメージさせる『命山構想』のシンボルタワーとして、本市の防災の取組を市内外に大きく発信する要となる施設を目指して整備しました。タワーの周辺は、平時には市民の憩いの場となるように、敷地内を防災広場とする整備を進めています。

3階避難スペース
ヘリ救出用スペース

2階避難スペース

想定される浸水深
(青ライン)

こあんしき
居安思危
やすありあやおも
-安きに居て危うきを思おう-

スポーツセンタータワーが
完成しました！

大階段



避難訓練の様子

避難タワー入口

タワー入口は常時開けていますので、いつでも登ることができます。

本タワーは主にスポーツセンター利用者の避難を想定しており、最大820名が一斉に避難する状況が考えられます。そのため、タワーの上り口での混雑を防ぐため横幅7メートルの大階段を設置しました。

階段はすべて小学校の階段の設置基準で整備しており、小さな子どもたちでも上がりやすくしています。

11月13日の令和4年度大規模津波防災総合訓練の一環で、スポーツセンターからの避難訓練と、3階避難スペースからの防災ヘリによる搬送訓練を行いました。避難訓練に参加した男性(76歳)は、「階段は少し辛かったです、比較的登りやすかったです。スロープもあって良かったです。」と話していました。

内階段



横幅1.8メートルのタワー内部階段

避難スロープ



車いすなど、階段利用が困難な避難者用にスロープも設置